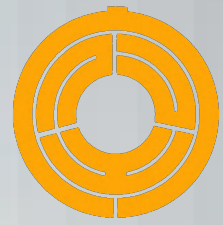


TOMAMAE

苫前町地域おこし協力隊

R7.4～12 活動報告資料

Yuri Wakabayashi



TOMAMAE

目次

table of contents

01. はじめに
02. 4～12月の全体像
03. 活動の柱（A・B・C）
04. A：ふるさと納税 / 特産PR
05. B：関係人口 / 移住・交流
06. C：デジタル基盤
07. これから

01. はじめに

- ・本報告は R7.4～12 の活動を、成果と学びを中心に整理したものです。

- ・活動は

- ①ふるさと納税 / 特産 PR
- ②関係人口 / 移住・交流
- ③デジタル基盤の 3 本柱で推進しました。

- ・本日は 全体像 → 柱 A～C → これからの順に、要点のみお伝えします。



「目的：町の魅力発信と外部接点づくりを、再現できる形にする」

02. 4～12月の全体像



土台づくり 4～6月

- ・ 町内外の関係構築／現状把握（ヒアリング等）
- ・ 活動方針を具体化し、情報共有の型を整備
- ・ 返礼品・特産PRの準備～初動（発信／企画の着手）



現場実践・検証 7～9月

- ・ 町内イベント運営支援で現場理解を深める
- ・ 特産PRを実施し、反応や導線を検証
- ・ 課題を把握し、改善点を整理（次へ繋ぐ学び）



外部展開・運用強化 10～12月

- ・ 移住交流や都市圏イベントで接点を拡大
- ・ 対面PRの反応を分析し、改善方針を言語化
- ・ SNS／コミュニティ運用を前進（継続の土台づくり）

03. 活動の柱 A・B・C



柱 A：ふるさと納税／特産 PR

- ・ 対面 PR（販売・試食・抽選）で反応を検証
- ・ 「成果が出る見せ方」を整理し、改善点を抽出
- ・ 次回に再現できる運用の型づくり



柱 B：関係人口／移住・交流

- ・ 都市圏イベントで接点を創出（相談・交流）
- ・ 関心テーマを把握し、情報を整理
- ・ 継続的な関与へつなぐ導線づくり



柱 C：デジタル基盤

- ・ SNS 発信（継続投稿と改善）
- ・ 記録・共有（Notion／議事録の効率化）
- ・ コミュニティ運用（Discord 導線の整備）

「以降、柱 A→B→C の順で“成果と学び”を報告します」

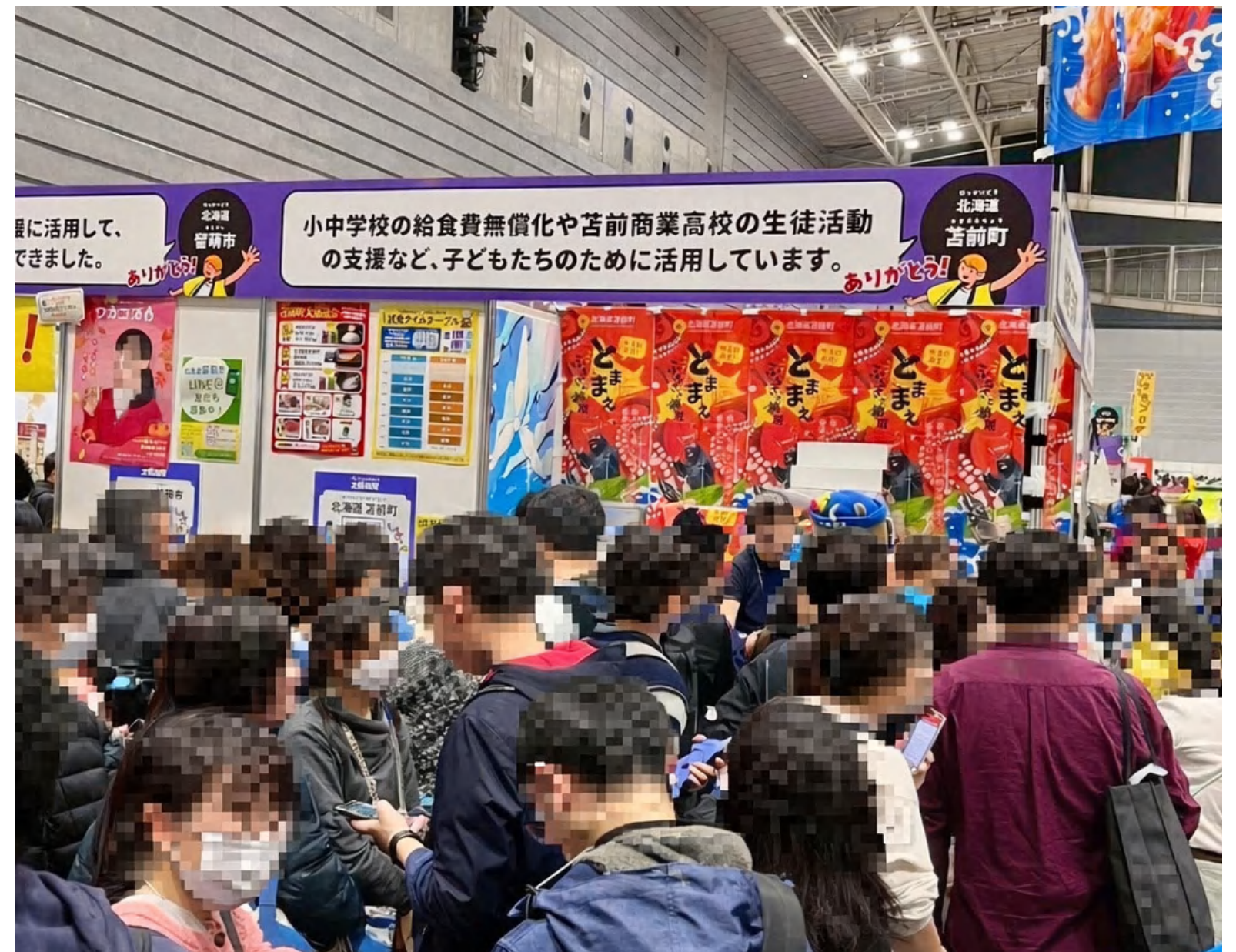
04. 柱A：ふるさと納税／特産 PR

【実施内容】

- ・対面 PR を複数現場で実施（販売・試食・抽選）
- ・来場者の反応／質問／動線を観察し記録
- ・課題と改善点を整理（運用・導線・見せ方）

【成果・学び】

- ・「立ち止まる導線」と「伝わる見せ方」の条件が明確化
- ・時間帯、声かけ、特典設計で反応が変わることを確認
- ・次回改善に向けた“運用の型”を言語化



「対面 PR（販売・試食・抽選）で反応を検証し、次回に再現できる形に整理」

05. 柱B：関係人口、移住・交流

【実施内容】

- ・移住交流フェア等で 個別相談・対話 を実施（暮らし／住居／仕事など）
- ・札幌・東京の交流イベントに参加し、苫前に関心のある層 と接点を拡大
- ・相談内容、関心テーマを 分類 / 整理し、次のアプローチに活用できる形にした

【成果・学び】

- ・相談は「暮らし（住居・仕事）」「地域との関わり方」に集中しやすい
- ・その場の対話だけで終わらせず、次の連絡や参加 まで設計すると継続率が上がる
- ・“情報の出し方（資料・導線）”で、相談の質と深さが変わる



「都市圏イベントで接点を創出し、相談内容を整理して継続導線に」

06. 柱C：デジタル基盤

【実施（事実）】

- ・ Notion で議事録・活動記録を整備し、情報共有の型を作成
- ・ Discord のコミュニティ導線を整備（参加導線・運用方針を整理）
- ・ SNS 発信を継続（投稿・改善を繰り返し、PR 素材も蓄積）

【成果・学び】

- ・ 記録は“残すだけ”より、検索、再利用できる構造にすると効く
- ・ コミュニティは参加後の“次の行動”がないと定着しにくい → 導線設計が重要
- ・ 発信は「継続」だけでなく、テーマと型を決めると改善が回る



「情報の「作る→残す→共有する」を整え、継続運用できる形に」

07. これから



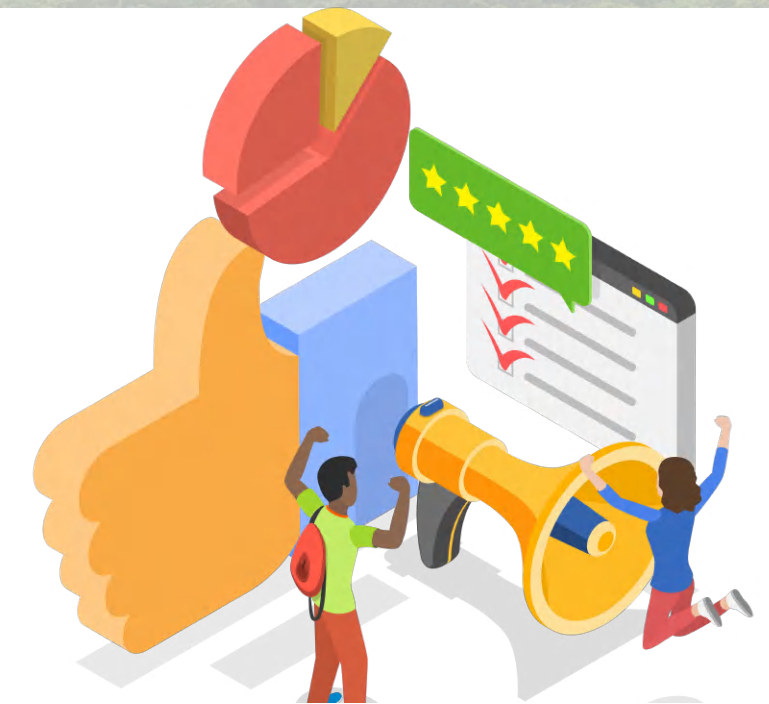
ふるさと納税（事務実務）

- ・ 受付～事業者連携～返礼品管理の
手順を理解 / 整備
- ・ ふるさと新聞の継続運用へ



デジタルコミュニティ運用

- ・ 参加導線、案内、交流の流れを
定型化
- ・ 関係人口を“継続接点”につなげる



発信・基盤（ルーティン化）

- ・ 投稿テーマと制作物を固定し継続
- ・ 運用しながら改善できる状態にする

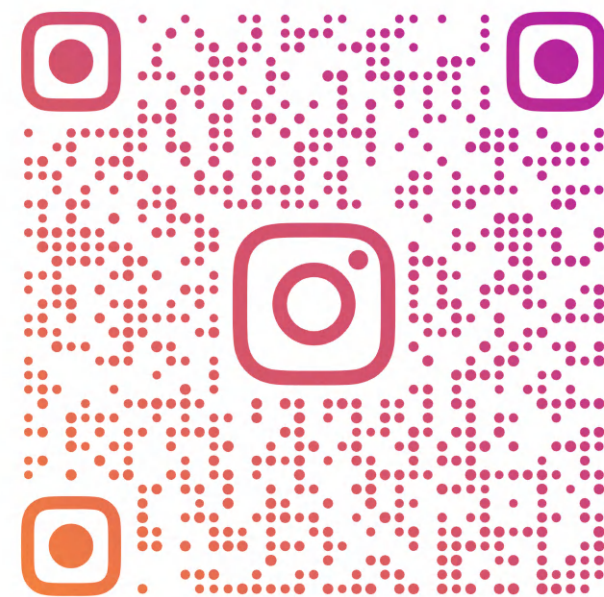
「実務 × コミュニティ × 発信を“定常運用”にして継続的に前進させる」

00. SNS の紹介



Discord

苫前町に興味のある方と繋がる
デジタルコミュニティです。



DISCOVER_TOMAMAE

Instagram

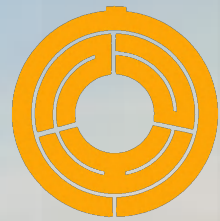
苫前町の魅力を季節の風景や
日常を通して発信しています。



X

苫前町のふるさと納税やイベン
ト等の情報を発信しています。

「ご関心がありましたら、ぜひフォロー／参加をお願いいたします。」



TOMAMAE

ご清聴ありがとうございました

Yuri Wakabayashi